

古紙利用汚泥燃料化システム



 **三菱重工環境・化学エンジニアリング**

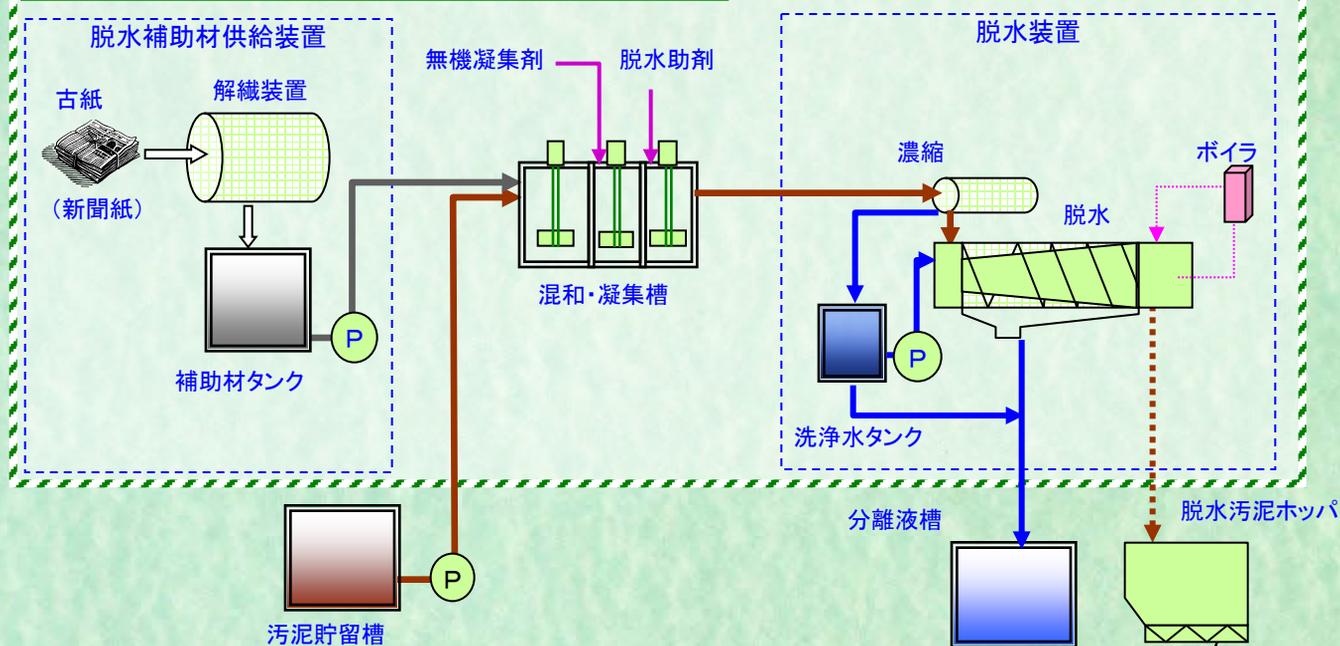
<http://www.mhiec.co.jp/>

三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社
サービス事業部 サービス営業部
〒220-0012 神奈川県横浜市みなとみらい4丁目4番2号 横浜ブルーアベニュー15F
TEL.(045)227-1287 FAX.(045)227-1295

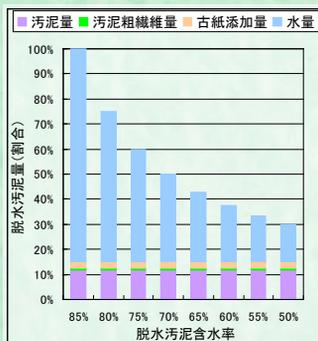
※ 商品の仕様は改善のため予告なく変更する場合があります。

- 脱水後の汚泥水分は安定して70%以下、用途も多様な選択が可能
 - ・助燃剤化に最適
 - ・脱水汚泥は堆肥化に最適（常温～60℃と発酵に最適な温度）
- 安全・安心
 - ・脱水補助材の原料は主に古紙を使用、堆肥化しても安心
- 安価
 - ・古紙を低動力で繊維状に溶解（解繊）し、最適な補助材に変化
 - ・補助材は施設内で製造するため安価
（自治体内の回収古紙（新聞紙）をご利用いただけます）
- 地域の循環型社会構築に寄与
 - ・地域で発生する廃棄物（古紙）を地域の廃棄物処理に活用し資源化

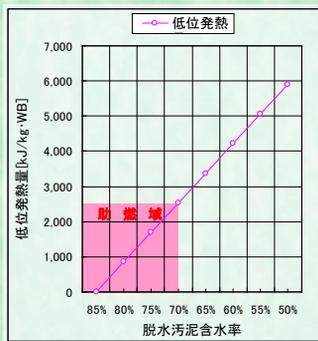
汚泥の助燃剤化フローシート



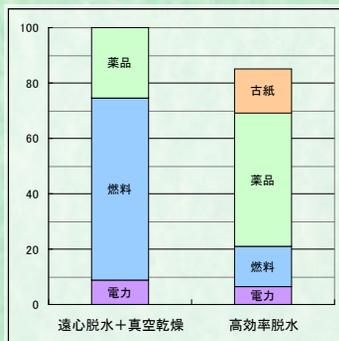
設置効果



脱水汚泥水分と脱水汚泥量



脱水汚泥水分と低位発熱量



水分60%時の維持管理費比較



脱水汚泥 (水分70%以下)

適用例

Case1: 助燃剤化	脱水プロセス → (場外搬出) → 清掃センターなどで熱回収	<ul style="list-style-type: none"> ・搬出量は1/2(含水率85→70%) ・助燃剤としてごみ等と共に焼却 ・汚泥乾燥焼却設備は停止
Case2: 堆肥化	脱水プロセス → 堆肥化 → 地域緑農地還元	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥設備なしで直接堆肥化
Case3: 施設内焼却	脱水プロセス → 乾燥機 (休止または堆肥化装置に改造) → 焼却炉	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥設備が不要(堆肥化装置への転用) ・乾燥排ガスが無いため脱臭炉が不要(燃料費低減)